



新旧メンバーの協力で 活発な委員会を

支部長 鷺崎 千春

この度、長谷川前支部長の後を引き継いで、東京支部長をお引き受けいたしました。新しい委員会を含めて、15名で委員会を運営してまいります。何とぞ皆さま方のご協力をお願い申し上げます。

コロナ禍で2020年、2021年は、東京支部の総会も、本部の定時会員総会も議決権行使書による書面総会でした。本年度は5月22日によりやく3年ぶりで、開催支部岡山の皆さまに並々ならぬご尽力をいただき、無事に対面での定時会員総会を終え、やはり触れ合いの心通う時の大切さを身に染みて感じました。

東京支部の会員数も7月現在184名と少なくなってきたことは否めません。それでも、会員たちの熱い呼びかけにこたえていただき、このところ一人ふたりと新会員が増え大変嬉しいことです。新しい会員さんには、会費だけの会員で終わらないで、HPのご案内や配布資料で色々な企画にご参加いただくとともに、ご自分が興味を持たれる委員会の活動で是非お仲間として働いてくださるようお勧めしています。東京支部委員会でも、経験に

基づいて当会の長い歴史をご存じのベテラン委員に助言いただきながら、新しい方にはこれまで気が付かなかったことを提案いただき、みんな



協力し合って楽しくやりがいのある活動を目指します。

東京支部推薦の陳兆昱さんが2021年度ホームズ奨学生に選出され、6月12日にはオンライン講演会「女性の政治参加と国家間紛争」が開催されました。陳さんにはこれをきっかけにますます研究成果を発揮して、将来は女性リーダーとしての活躍を期待いたしております。

支部では、一般社団法人へ移行時の残余財産を使った二つの奨学事業が今年度で終わります。新しい事業の取り組みもご案内してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

JAUWの 明るい未来へ向けて

大学女性協会 会長
岩村 道子



2022年度大学女性協会会長を務めさせていただく東京支部会員の岩村道子です。

今期の理事会の当面の重要課題は秋のシンポジウムと来年5月の定時会員総会の実施計画です。どちらも東京での開催が予定されておりますので東京支部会員の皆様には、その実行に際して多大のご協力を頂戴いたすこととなります。今回のシンポジウムは「ユースの視点から見直そうこれからの日本」というサブテーマで、コロナ禍で大きく変わってしまった日本社会における私共会員と次世代とのつながりを考えてまいります。定時会員総会は、支部からの開催引き受けのお申し出がないために理事会主導での東京地区開催となりました。開催は東

京支部会員の皆様の多大なご協力なしには不可能でございます。東京開催でよかったと他支部の方たちも喜ばれるような素晴らしい総会が開催できますよう理事会と東京支部の皆様で計画を練ってゆきたいと存じます。

さて、1946年に設立され長い歴史をもつ大学女性協会を今後もその活動を継続しつつ来へと引き継いでゆくにあたり近年問題となっているのは、会員の高齢化と会員数の減少です。会員の増大には、大学女性協会の特色や魅力を若い女性たちにアピールする必要があるとの声、岡山での定時会員総会後の会員拡大のためのワークショップでも多数聞かれました。そこで課題となるのは、若い女性にアピールする方法です。理事会は次世代の方たちへの働きかけを少しずつ始めようとしています。幸い、東京支部には多彩なキャリア、趣味などをお持ちの会員がおそろいで、現役世代の方たちも会員活動に参加なさっておられます。東京支部の活動を参考にさせていただき、また、お知恵を拝借しつつ、今期の理事会は次世代の方たちからも賛同を得られるようなJAUWへと一歩でも半歩でも踏み出してゆこうとしております。さまざまなか場面で東京支部会員の皆様のご支援、ご協力を仰ぐことと存じます。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



「ひこばえ」水墨画 東京支部会員作

2022年 JAUW東京支部総会(書面審議)報告 前書記 坂上栄美子・田中紀子

- 開催日時 2022年4月17日(日) 13:00~14:00
 会場 JAUW本部会議室
 会場出席者 支部委員11名
 審議者 東京支部会員88名(会場出席者11名を含む)
- 総会成立確認 2022年4月17日13時現在、議決権行使書提出者88名(有効数88名、無効数0名)。
東京支部規約第10条第2項に基づき、東京支部会員181名の5分の1(36名)以上の出席により総会が成立することを確認した。
 - 議長選出 東京支部規約第11条に基づき、長谷川瑞穂支部長が議長を務める。
 - 議事
審議事項 第1号議案:2021年度東京支部事業報告
第2号議案:2021年度東京支部正味財産増減計算書内訳表・会計監査報告
第3号議案:2022年度東京支部事業計画(案)
第4号議案:2022年度東京支部予算書(案)正味財産増減計算書内訳表
第5号議案:2022年度東京支部新役員の選任
 - 結果 書面審議の結果、第1号議案~第5号議案すべての議案について、東京支部規約第10条第3項に基づき、原案通り承認された。
※第3号議案、第4号議案の(案)を削除した。

2021年度東京支部事業報告

支部事業

- 4月18日 支部総会 於本部会議室
委員出席と議決権行使書をもって開催
- 4月18日 支部委員会 以降10回開催(対面・オンライン併用)
- 6月19日 講演会(オンライン)
「A | 社会」講師:進士多佳子委員
- 7月15日 東京支部国内奨学生募集
- 7月20日 「ともしび」第70号発行
- 9月12日 報告会(オンライン)
国内奨学委員会、社会福祉委員会と共催
2019年度JAUW国内奨学生報告会
「新型コロナ禍での勉学・研究と進路
2019年度国内奨学生の視点から」
- 10月 東京支部国際奨学金支給
- 12月7日 講演会・懇親会 於自由学園明日館
「マングローブ、ミャンマー、気候危機、もしくは冒険的夫婦論」
講師:向後紀代美会員 向後元彦氏
- 1月22日 東京支部国内奨学金支給
- 3月7日 「ともしび」第71号発行
投稿特集「男女平等後進国を脱するために」
- 随時 勉強会(オンライン) ZOOM活用練習会開催
- その他・サークル活動:水墨画教室 映画クラブ
・寄付活動:中野区視覚障害者福祉協会へ使用済み切手を送付

本部事業(主な事業・支部関連事業)

- 5月23日 JAUW第10回定時会員総会 於本部会議室
- 6月~9月 JAUW国内奨学生東京支部圏募集・選考・候補者推薦
- 11月14日 2021年度JAUW全国セミナー(対面・オンライン併用)
於エッサム神田ホール1号館
- 1月8日 新春のつどい 於京王プラザホテル

2022年度東京支部事業計画

支部事業

- 4月1日 支部総会議案を書面にて通知
- 4月17日 支部総会 於本部会議室
支部委員の出席と議決権行使書をもって開催
- 4月17日 支部委員会 以降9回開催(対面・オンライン併用)
- 6月12日 講演会(オンライン)
「女性の政治参加と国家間紛争」講師:陳兆昱氏
(2021年度JAUWホームズ奨学生 青山学院大学大学院)
- 7月15日 東京支部国内奨学生募集
- 7月25日 「ともしび」第72号発行
- 10月 東京支部国際奨学金支給
- 1月 東京支部国内奨学金支給
- 3月 「ともしび」第73号発行
- その他・サークル活動:水墨画教室 映画クラブ
・寄付活動:中野区視覚障害者福祉協会へ使用済み切手を送付

本部事業(主な事業・支部関連事業)

- 5月22日 JAUW第11回定時会員総会 於岡山
- 6月~9月 JAUW国内奨学生東京支部圏募集・選考・候補者推薦
- 10月22日 シンポジウム
- 1月14日 新春のつどい 於京王プラザホテル

◎新たな企画は、随時お知らせします。

2021年度 東京支部 正味財産増減計算書内訳表 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(単位:円)

Table with columns: 科目, 実施事業等会計 (事業1-4), その他会計 (事業5-6), 支部計, 備考. Rows include 一般正味財産増減の部, 経常増減の部, 経常収益, 経常費用, etc.

資金残高(2022年3月31日現在)
実施事業等会計
その他会計

Table with columns: 現金, 銀行名, 預金額. Rows for 三菱UFJ銀行 and 三菱UFJ銀行.

会計
中山 正子
菊地 康子

厳正に監査いたしました結果、正確に記載されており
間違いないことを証明いたします。

2022年3月23日
会計監査 佐々木澄子 印
会計監査 鈴木 佳子 印

2022年度 東京支部 予算書(正味財産増減計算書内訳表) (2022年4月1日～2023年3月31日)

(単位:円)

Table with columns: 科目, 実施事業等会計 (事業1-4), その他会計 (事業5-6), 支部計, 備考. Rows include 一般正味財産増減の部, 経常増減の部, 経常収益, 経常費用, etc.

第11回定時会員総会・ 全国総会に出席して

前副支部長 森川 淳子

5月22日、岡山市で3年ぶりに対面による総会が開かれた。21日の支部長会、懇親会から始まり、22日は定時会員総会、全国総会、23日は、研修旅行と続いた。支部長会には、19支部から支部長・または代理が集まり、本部からの連絡事項、支部長の紹介があった。ANAクラウンプラザホテル岡山19階「宙」での懇親会は、となりの人との間に、アクリル板のパーティションはあったものの、岡山市を一望できる部屋でおいしいお料理を堪能した。その時の夕日は、実にみごとであった。22日の総会は、出席者85名、議決権行使書による出席者247名により成立。議事の承認により、2022年度からの新理事・監事が選出された。午後からは、岡山市出身の歴史学者磯田道史氏による講演会、会員拡大のワークショップと続く。23日は、竹久夢二探検隊として、瀬戸内のエーゲ海といわれる牛窓、生家や夢二美術館を訪ねた。

3年ぶりに支部長さん、他支部の方々とお会いでき、直接お話ができ、食事ができ、バス旅行もでき、なんと楽しかったことか。コロナ禍で出来なかった事の損失の大きさ、人と人が直接顔をあわせることの大切さを改めて感じた。岡山支部のきめ細かな準備に、御礼申しあげる。

支部長会

―懐かしい方々と再会して―

支部長 鷺崎 千春

総会前日5月21日16時から、支部長会が、すでにダイナーセットの配置がされた懇親会場の半分を使って開かれました。

まず、加納会長はご挨拶で、対面での総会に向けて、岡山支部の方々の行き届いた受け入れ態勢を労われ、オンラインのお陰で可視化は進んだが、目に見えるものの先にあるJAUWの活動を通しての触れ合いを大事にしましょうと述べられました。そのあと、理事・監事による各担当業務の説明が総会に先駆けて詳しくなされました。

久しぶりに皆さまにお会いし、和やかな雰囲気の中、支部の活動報告、趣味、今夢中になっていることなど紹介して、交流の時を持ちました。多くの支部から、それぞれ特色のある支部だよりが配布され、支部活動の活発なことにも元気をいただきました。「ともしび」の投稿特集を楽しみに読んでいますとの声を聞いて、励みになりました。どの支部からも会員の高齢化、パソコンを使えない人を取り残さない工夫、支部長選びの苦労、当協会へ入会を誘う際の難しい点など、問題点が話されました。東京支部からは、会員たちの熱心な声かけで今年になって一人ふたりと入会してくださる方が続き心強く思っていること、また新会員の方に積極的に支部の活動に関わっていただきたいと意識的に働きかけをすることなど報告しました。

2022年5月22日

会員拡大委員会による ワークショップ

～大学女性協会の特色を見直して～

最初に、進行役山下いづみ委員長より、このワークショップは、2014年7月にシンガポールで開催されたアジア地域ワークショップ「外部の人たちに組織の活動が理解され、会員が増えるにはどうしたらよいか」に倣っていると説明があった。

定時会員総会、講演会が終わり15時からのスタート、10グループのそれぞれが手元に用意されたポストイットに、当会について思っていることを書き込んだ。そのあと、模造紙に同じような意見をまとめて貼り付け、クレヨンで大きく書き添えて、グループ発表となった。

「この会の強みは何？」全国組織、国際組織である、行政に提言できる、同じような考えを持っている、各世代がいる、対等に話し合える、ボランティア精神がある、専門分野の人が多く学びができる、高齢者も元気、若いリーダーを育てたい意識がある等々。

一方、「この会の弱みは何？」では、若い人が少ない、活動内容が分かりにくい、名称から会員に誘いにくい、地域格差がある、地域に沿った活動ができていない、会費が高い、会費に見合う活動ができていない、役を引き受ける人が一部に集中してしまう等が挙がった。

90分で約90人の参加者というワークショップ、十分な時間は取れなかったが、みんなが一つになり、今一度、大学女性協会を見直してみようと、どのグループも真剣に取り組み、大変意義ある時間を過ごせた。（鷺崎 千春）



2020年度東京支部国内奨学生(チャレンジ奨学生)レポート

慶應義塾大学看護医療学部卒業(2022年3月)

製造業勤務

のぼりお いずみ
登尾 泉美



家族の笑顔と健康が一番の宝物

私は、今年3月に看護師及び保健師の国家試験に合格し、製造会社に就職しました。チャレンジ奨学生に応募し、医療福祉職として活躍したいという夢をご支援いただけたことに心より感謝を申し上げます。

私は、大学4年次の保健師コースの行政保健実習において、市町村の保健所にて、乳幼児健診や健康サークル活動への参加、フレイル予防の健康教育、難病者(児)・障害者(児)の家庭訪問等を行いました。そして訪問先の皆様(お子様)が、保健師をはじめとする様々な社会資源を上手に活用しながら、非常に力強く、前向きに生きていらつしやる姿に強く感動しました。

また産業保健実習では、日本の製造業を支える現場の方々の健康支援の重要性を学びました。そして「健康に働き続けられることは、決して当たり前ではない」ということや、職業病を含む疾病予防の必要性を強く認識するに至りました。

行政保健と産業保健のいずれの場面においても、保健師の役割は、健康支援であったり、環境を整える等の後方支援部隊であることを

学びました。「気付かれないように、そっと背中を押すのが役割です」と、実習先で先輩方が教えてくれた学びは今でも忘れられません。

また一方で、プライベートで自治会等の地域活動に取り組んでいる私にとって、生涯を通じた国民の健康づくりのためには、厚生労働省が推進する「地域・職域連携推進事業」を一層加速させ、地域と企業の連携の強化が益々重要になるだろうと考えるようになりました。そこで、私自身も今後、当該分野において、人生100年時代を謳歌するための生き方支援や健康維持のための仕組みづくりについて、積極的に取り組んでいきたいと考えています。

今後、これらの取り組みを実践する上で、多くの困難に遭遇すると思いますが、その際には、叡智の結集であられる一般社団法人 大学女性協会の皆様のお力添えをいただけると大変心強いです。長引くコロナ禍で皆様に直接お会いできる機会がなかったことが大変残念ですが、いつかお会いできることを楽しみにしております。今後ともよろしくお願いたします。

一般社団法人大学女性協会 東京支部国内奨学生(通称 チャレンジ奨学生) 2022年度募集要項

一般社団法人大学女性協会東京支部は、企業、官公庁などでの就労経験の後、現在大学で勉学中の意欲ある女性に、その勉学を支援することを目的として奨学金を支給する。卒業後は再び就業し、自らのステップアップのみならず広く社会に貢献することを条件とする。

- I 応募資格
2年以上の就労(アルバイトを除く)の後、文部科学省の認可する東京都・沖縄県・神奈川県・埼玉県・千葉県・山梨県に本部を置く大学の3年次に在学する女子学生。卒業時まで同大学に在学することを条件とする。就労以前の学歴は問わない。
- II 支給額および募集人数
奨学金20万円を1名に1回支給する。返還は求めない。
- III 応募提出書類
(1) 履歴書・自己紹介書
1. 所定の様式による
2. 写真貼付
3. 履修科目は主な専門科目1科目であること
4. 履修科目の指導教員の職名・署名を必要とする
(2) 作文
所定の様式によりA4用紙1枚に1000字以内
テーマ 「どのような就労経験を経て、現在の勉学を必要と考えたか。その勉学を今後どう生かしたいかについて」
(3) 大学の在学証明書
備考(1)(2)は、ホームページからダウンロードし、印字可。
- IV 応募方法および締切り
応募者は応募書類を在学大学へ提出する。大学は一括して2022年10月20日(木)(必着)までに大学女性協会東京支部に提出する。
- V 選考結果通知
本人および大学学長に11月末までに通知する。
- VI 支給
1月予定。別途連絡する。
- VII 奨学生の義務
卒業後2カ月以内に「勉学の概要と現況」(800~1000字)を大学女性協会東京支部に提出すること。提出のない場合は、奨学金の返還を求められることがある。「勉学の概要と現況」は、支部会報「ともしび」に掲載する。同封会報「ともしび」参照のこと。

【問合せ先】 一般社団法人大学女性協会東京支部
支部長 鷺崎千春
〒160-0017 東京都新宿区左門町11番地6の101
Tel 03-3358-2882 Fax 03-3358-2889
Email:jauw@jauw.org URL:https://www.jauw.org

2022年度は東京支部国際奨学生の募集はありません。

講演会報告

女性の政治参加と国家間紛争—“女性と政治”を考える

— 陳兆昱氏の講演を聞く —

6月12日、2021年度のホームズ奨学生に採用された陳兆昱さんに「女性の政治参加と国家間紛争—“女性と政治”を考える」をタイトルにオンラインでご講演いただきました。参加者36名と、大変盛況な会となりました。

講演では、まず修士論文の内容、続いて現在執筆中の博士論文の研究についてご紹介いただきました。議会における女性議員の人数が増えると、国家は政策決定の場面で、国家間紛争を推し進めない傾向にあるそうです。具体的には、軍事費の減少や平和条約の締結、紛争後の平和構築の促進が挙げられます。また、女性議員の増加により、人道支援や福祉、教育面に重点を置いた政策が推し進められることが、先行研究により明らかになったことも報告されました。ただし、日本にはまだ誕生していませんが、国家のリーダーが女性である場合には、政策決定に変化はないことも分かっているそうで、興味深いお話でした。今後の研究として、統計学の見地から女性議員の増加が外交政策・国家間紛争の解決にどのような影響を与えるかを明らかにするとともに、フェミニスト外交で有名なカナダ、議会における男女比が50%であるメキシコの2カ国を事例研究として取り上げるとのことでした。

当日は東京支部だけではなく、11の支部からご参加いただき、また会員外からのゲストもお迎えして、活発な質疑応答と議論が行われました。政治学の研究者からは、同じように女性議員といっても、独裁制における制限付きの選挙と民主主義国家におけるそれとは異なるのではないかという指摘がなされ、政治学を専門としない会員からは、理論を実証する地域研究として、メキシコとカナダを選択することの妥当性が問われました。

なお、陳さんは本会からの奨学金を用いて渡米し、ミシガン大学のICPSR summer programで統計の手法についてより深く学ばれるとのことでした。ホームズ奨学金が若い女性研究者の一助となっていることを改めて認識し、本会の活動の意義を確認することができたことは、私たちにとっても望外の喜びでした。陳さんのご研究の進展を願うとともに、再び研究成果についてお話を伺える機会を心待ちにしております。

支部委員 宮下 摩維子



陳兆昱氏

会員
寄稿

ヴィーヴァ、大学女性協会

前会長 加納 孝代

私は大学女性協会の会長を2020年、2021年と一期務めました。その前の期では副会長でしたが、会長となると関わる領域はさらに相当広く、必死に駆け抜けた2年でありました。結論からいえば会長を経験させていただいて本当に良かったと感謝しています。

就任直後から新型コロナウイルス感染症という難問に見舞われました。数か月間事務所は閉鎖、長年勤めていたパートタイム職員3名も辞意表明、代わりの新人も続かないという状態からの出発でした。さらにいわゆるコロナ禍は大学女性協会の主要行事を直撃し、総会も新春の集いもコンサートも留学生対象の国際奨学事業も実施できませんでした。ただし少し経つとオンラインの技術や知識が強化され、セミナー、シンポジウム、Jカフェ、奨学金受賞者の発表会などが結果的には全国の会員にとって参加しやすい形に変わってゆきました。さすが大学女性協会です。

課題に直面した際は「原点に帰れ」とよく言われます。私も頻りに必要になる判断のヒントとするために、大学女性協会の草創の理念、責務、目標などを探り求めてきました。おかげで定款の文言通りではありませんが、そ

の精神は掴むことができたように思います。

まず私たち女性は自分自身が学び続けなければなりません。人口の半分である女性が実力をつけてこそ世の中が良くなるからです。次は自分に続く者を育てることです。奨学金事業はそのなかに位置づけられます。そして三つ目、目指すべきは「平和」です。世界の恒久平和というあまりにも迂遠な広言ですが、自分の隣にいる人と親しく交わることがその第一歩であるに違いないと信じ、とにかく大学女性協会内では喧嘩はするまい、と心がけてきました。

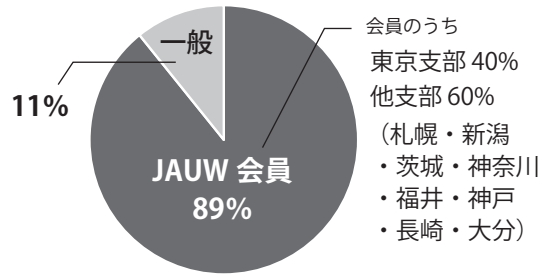
この2年で知ったこと、それは女性の長所と欠点は表裏一体だということです。男性でもきっとそうなのでしょう。そこに希望があるということでもあります。もう一つ、たくさんの素敵な友人に出会えました。ですからやはりおしまいは、Viva, JAUIW!



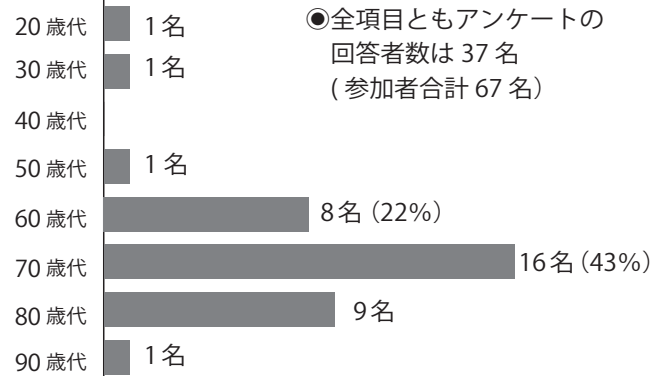
オンラインイベント参加者アンケート

『ともしび』71号に掲載の2021年9月開催「2019年度国内奨学生・社会福祉奨学生による報告会」で実施したアンケートの回答から5項目をまとめました。※アンケート記述回答の詳細は調整しています。

Q: 所属

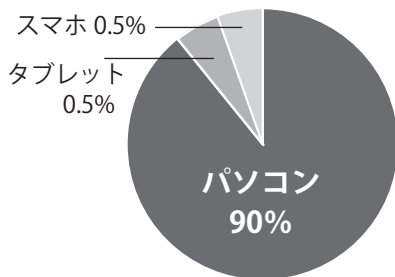


Q: 年代



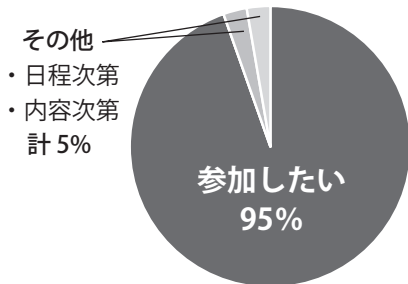
●全項目ともアンケートの回答者数は37名 (参加者合計67名)

Q: 今回使った端末は何ですか?



Q: どのようなオンラインイベントをご希望ですか?

Q: これからもオンラインイベントに参加したいですか?



- シリーズ勉強会・講演会
- ZOOM 会議を主催、発表の方法
- 教育、共生社会に関する講演会
- 世界の女性問題解決に資するもの
- オンラインでのコンサート
- 将来に大学女性協会の会員になってくださるような若い方々も感動出来るような、そして私たちも JAUW の活動の意義を感じることで出来るような講演会、勉強会など。
- 地方に居住する者にとっては、本部イベント等に参加できる機会が増え、大学女性協会の活動がわかりやすく感じます。
- 会員による講演会・会員の専門分野に関するセミナー、小規模でも多様に。(学術、個人的活動に関わらず)
- 女性が健康を保ちながら学び続けられるヒント。
- 社会的に関心のあるテーマ。さらに参加者で話し合ったり、議論したりのイベントも。
- あまり大人数ではなく、感銘した本や絵画、観劇の話など楽しくできるものがあったらいいかなと思います。それと戦争体験者が減ってきている昨今ですので、体験された方、先輩から聞いた話などオンラインで是非語り継いでいただきたいです。



他支部の方も。PCでもスマホでも。



お問い合わせ：中山正子(東京支部)
Email: masako@c02.itscom.net
Tel: 045-541-2481 携帯: 090-6514-8135

**オンライン練習会を
随時開催しています。**

上記のアンケートからもお分かりいただけるとは、自宅にいながら、催しに参加するのはとても便利です。

▼東京支部では、昨年よりオンライン練習会を開いています。未経験の方には、まずメールかお電話で初めの一步(アクセス方法)をご説明します。アクセスできるようにしたら、練習会で基本操作をご説明します。

▼「新しいことに挑戦!」という方、経験があっても不安な方、スキルアップしたい方、さまざまの方が参加されています。他支部の方も見えになり、楽しいお喋りになることもしばしばです。ぜひ、お問い合わせください。お待ちしております。

お話を

聞かせて
ください

第一回

庄司ヨシさん

大学女性協会の会員は素敵なお方ばかりです。ぜひお話を聞きたく、このページを企画しました、第一回としてお尋ねしたのは庄司ヨシさんです。

子供時代、学生時代、ご結婚後

●お生まれは？ どんなご家族でしたか？

昭和3年、札幌で生まれました。父は農大でアミノ酸を研究しており、出張や原稿書きをしていることが多く、母は何でも一人で決めて賑やかなのが好きな人でした。私達兄妹は比較的自由に育てられたと思います。

●少女時代、好きな本や音楽は？

書棚に夏目漱石・志賀直哉の全集があり、よくわからなくても読んでいました。母が西洋音楽が好きだったので、オペラのレコードは小さい頃から何となく聴いていました。

●女学校の思い出は？

女学校で国語が好きでした。戦時中で勤労奉仕が多く、楽しみは少なかった。あの頃は、口には出せませんでした。日本は負けるんだと気がついていました。悲しいことですが、それでも早く

戦争が終わって、家族の命の危険がなくなるのが大事だと、心の底で思っていました。

●将来の夢は何でしたか？

職業につくと思っていなかった頃で、はっきりした夢はなかったと思います。

●どんな大学時代でしたか？

終戦後、東京は焼け野原と聞いていましたが、母と伯母が卒業した日本女子大の校舎（目白）が残っているのを知り、昭和21年に入学しました。家政科、生活芸術科で広範囲に学びました。たくさんのおもしろい友人もいて、アメリカ映画をよく見に行っていたものです。平和が嬉しく、幸せな学生時代でした。

●ご結婚後、海外で長く暮らされたと思いますが、どちらでしたか？

夫が造船会社に勤務、その関係で、ラングーン、マニラ、そして、バンクーバーで暮らしました。

●当時、ご家族で楽しかったことは？

旅行が楽しく、おいしい食事も家中の皆が喜ぶことでした。母が日本から来るといつも面白い話をしてくれて、今でも思い出すと笑ってしまいます。

ご活動について

●ご帰国後、尽力された平和や文化のご活動について教えてください。

昭和55年頃、WILPF(婦人国際平和自由連盟)に入会しました。世界一古い女性の平和団体です。ノーベル平和賞を受けたジェーン・アダムスの意を引いており、私も深く共鳴しました。国内各地での会議にはすべて出席しま

した。現在、ジュネーブ本部からのメールを数人で毎月定例で学んでいます。社団法人の庭園協会にも長く関わってきました。かつて壮大なお屋敷が日本中にありましたが、戦後、多くが県や市に寄付され、徐々に庭園として公開されていったのです。その過程の調査や編集などに参加、文化のさまざまな面を知ることができました。庭園、造園には興味がつきません。

●JAUWとの縁は？

入会が学生時代の友人の西村章子さんの誘いがきっかけでした。昭和60年頃だったと思います。毎年総会では日本各地の自然や美しい文化を堪能できました。現在も会員委員会の委員として会員管理のお手伝いをしています。いつも、多くの役員や会員の方々のご努力に感謝しています。

現在、そして、将来について

●どのように過ごされていますか？

元来が気楽。兄弟が多く、助け合えました。何度もの転勤で環境の変化の連続でしたが、あまり難しく考えないようにはしていました。今も子供たちによく協力してもらっています。

●コロナ禍でのお付き合いは？

次男夫婦は同じ建物ですが、来るときはマスクをして気をつけています。友人と会うことは我慢。でも、オンラインで月に何度か交流を持っています。

●ITは活用されていますか？

ワープロは30年前から使っていましたのでパソコンでのWord、Eメール

を書くことなどには自然に慣れました。オンラインでZOOMを利用。アクセスなどは長男が助けてくれます。スマホも便利なので使っています。

●ご趣味、ご注目されていることは？

自分の時間が十分にあるので、音楽を聴いたり、映画を観たりすることが多いです。また、国際関係のニュースはいつも気になります。世界地図は手元に欠かせません。

●工夫をしていることは？

転ばぬよう気をつけ、食事は偏りが無いよう、好きなものを作っています。●楽しかったことで、真っ先に思い出すのはどんなことですか？

両親のダイアモンド婚祝いに親戚・友人が集まって懐かしさで話がつきなかつたこと。40年前のことです。

●昭和、平成の良かったところは？

紛争が続いている国のことを考えると、日本にもいろいろ不幸なことがありましたが、地理的にも恵まれ、お互い協力して解決できたと思います。

●令和のこれからの期待することは？

自分自身を大切に、少しでもお互いに役に立つ気持ちを持ちながら、幸せに暮らせる国にしていきたい。

●タイムマシンがあったらいつに行きたいですか？

今という時代、これからの世の中に、興味津々です。

(取材：中山、進士)



東京支部委員会 新委員ごあいさつ

今年度、3名の新しいメンバーが加わりました。

鈴木 公江

寡聞にして、大学女性協会について知ったのは、コロナ禍の昨年秋、50年来の友人鷺崎さんを通じてです。夫の仕事の関係で海外生活が長かったこともあり、帰国後は外国法法律事務所日本語教師として働いていたのですが、コロナで生徒数が激減し、社会とのつながりが希薄になっている時でした。折しも鷺崎さんが新支部長になられるとのことで、自己啓発と社会とのつながりを得る好機と思い、入会を決めました。より早くより深く楽しめるとの、強いお勧めもあって、委員会のメンバーにまでなってしまいました。

宮下 摩維子

母の本協会での活動を間近で見えており、その活動の有意義さに感銘を受け、入会致しました。東日本大震災後の奨学金事業など、社会の直面した問題にすぐにアクションを起こす行動力は他の団体にはないものと感銘を受けております。

活動自体の魅力のほかに、皆さまの社会貢献の意欲の大きさやお心の強さに憧れたことも入会の理由の一つです。私は大学で法律学(民事訴訟法担当)の教鞭を取っております。諸先輩方のように熱い志を失わず、異なる意見をもつ会員との意見交換を恐れずに、社会に対して私なりにどんな貢献ができるか学んでいきたいと思っております。

青木 麻里子

この度、新入委員に加わりました青木麻里子です。学生時代は、フランスに留学し、社会人になってからも、パリとシンガポールに住んでおりました。大学時代に日本学生協会基金(JNSA)という学生団体で活動していたのですが、自らの意志で色々活動していた若い頃と同じ熱を感じ、初めて出席させていただいた委員会では、その頃を懐かしく思い出しました。大人になってさらに様々な経験を重ねた皆様が一堂に会し、活動する力は素晴らしいことと存じます。また、「ガールズパワー」という言葉があるように、女性であればこそ達成できることもあると信じております。

東京支部の委員会は、講演会、小規模の勉強会、見学会、編集、そのほか新たな企画など、メンバーそれぞれのアイデアや持ち味を發揮できる楽しい場です。ご興味のある方は、ぜひ、東京支部委員会の扉をノックしてみてください。お待ちしております。

CAMPAIGN

毎月15日は JAUWのホームページを見よう!

本部や各地の最新情報が一目でわかります。

<https://www.jauw.org>

大学女性協会のWebサイトをご覧になったことがありますか?
"すべての女性が輝く明日のために"をスローガンに掲げたJAUWの幅広い活動がわかります。毎月15日に更新されます。



Scholarships



※上記は一部です

東京支部のホームページ

最新情報ほか過去の『ともしび』、出版物、イベントなどを掲載。JAUWトップページからも入れますが、すぐに支部ページを見たいときは「JAUW 東京支部」で検索してください。



検索 JAUW 東京支部 🔍



《ともしび》 投稿募集

言葉は、いつの時代も、日々生まれ、また日々消えていきます。
発信ツールの多様化の今、目まぐるしいものがあります。
そんな言葉や使い方で、便利な言葉、好ましい言葉、
新しいことに気づかせてくれる言葉、また反対に耳障りな言葉、
不快に感じる言葉、意味不明の言葉などを、具体的に例を挙げて、
ご意見をお聞かせください。

言葉 ことば コトバ



◎応募要領

テーマ：「言葉 ことば コトバ」
原稿題目(見出し):ご自由に 原稿字数:800字以内※
記載事項:氏名(よみがな) 締め切り:2022年(令和4年)12月25日
掲載予定:『ともしび』73号(2023年3月発行)

◎原稿の送付先

所属支部、住所、連絡先(固定電話/携帯電話)を記載のうえ、郵送かメールでご送付ください。
(一社) 大学女性協会 東京支部 ともしび投稿係 Email: jauw.tokyo@gmail.com

サークル案内

◎水墨画教室

◆若干名募集中。初心者大歓迎です。お試し体験もできます。
・第2金曜日 午後1時半〜3時半
・JAUW事務所会議室
・講師 日高絹子(絹紅)会員
・連絡先 森川淳子
電話(045)583-3430

◎映画クラブ

◆一緒に映画を見て、映画談義を楽しむ、気さくな集いです。
ぜひ一度ご参加ください。
・隔月開催 その都度 日、時間、場所を連絡
・入会申込、連絡先
Email: jauw.tokyo@gmail.com
電話・Fax(045)541-2481(中山正子)

2022年度 東京支部新入会員

- 青木麻里子 (上智大学)
- 井ノ口 蘭 (東京大学大学院)
- 大井 恭子 (東京大学・ニューヨーク州立大学大学院)
- 小根山千歳 (大阪大学大学院) 再入会
- 木下ひろみ (アールラムカレッジ)
- 鈴木公江 (東京教育大学大学院)

*敬称略 *50音順、括弧内は出身校

2022年度 東京支部委員会

- 支部長 鷲崎千春(新)
- 副支部長 長谷川瑞穂(新)
- 書記 田中紀子 長谷川瑞穂(新)
- 会計 菊地康子 森川淳子(新)
- 支部委員 青木麻里子(新) 安東桂子
- 太田恵子 坂上栄美子
- 嶋田美恵子 進士多佳子
- 鈴木公江(新) 中山正子
- 藤村久美子 宮下摩維子(新)
- 佐々木澄子 早川恵子(新)

*50音順 *記載後に括弧の記載がない委員は再任

ご寄付いただきました
ありがとうございました

夏瑛 鈴木佳子 日向美砂子 4千円
*敬称略

支部からの連絡

- 住所等の変更はお知らせください。
- 会費未納の方はお早目にお願ひします。
- 91歳以上の会員の会費は免除することがあります。
- 支部長までお申し出ください。
- 中野区視覚障害者福祉協会支援のため使用済み切手を事務所までお送りください。

《編集後記》

まだ6月だというのに、突然の猛暑。入稿に向けての最終作業は不快指数との戦いでした。といっても、「ともしび72号」は、新年度のスタート。新会長・新支部長のお言葉、岡山での全国総会体験記、奨学生の講演報告など、盛りだくさんの内容で、楽しい編集業務となりました。協会の発展に尽くした初期会員へのインタビューという新企画も登場。本誌が皆さまと協会の絆となりますよう祈っております。

(編集担当 嶋田、進士、安東、鈴木)